

天秤を用いるゼロ知識証明

金子 尚平
電気通信大学

1. 研究背景
2. モデル
3. 既存プロトコル
4. 提案プロトコル
5. 性能評価
6. 終わりに

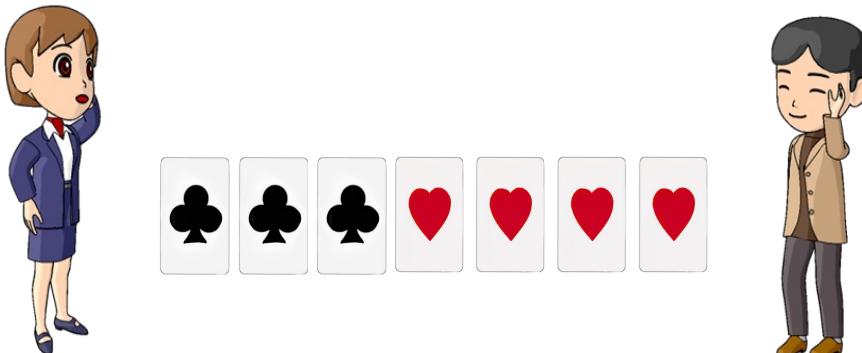
- ・パズルの答えに対するゼロ知識証明
➤答えを知っていることだけを証明



8					5	1		
		1				8		
			2				9	
4					3			2
1	2	3	4		6	7	8	9
6				1				3
	8				9	5		
		2				4		
		7	6					



- ゼロ知識証明
 - 数独に対するゼロ知識証明^[1]
 - シャッフル回数とカード枚数の削減^[2,3]
- マルチパーティ計算
 - 投票プロトコルに用いるカード枚数の削減^[4]
 - カード以外の物理道具の利用^[5]



[1] Gradwohl, R. et al.: Cryptographic and physical zero-knowledge proof systems for solutions of Sudoku puzzles. ToCS (2009)

[2] Ruangwises, S.: Two standard decks of playing cards are sufficient for a ZKP for Sudoku. New Gener. Comput. (2022)

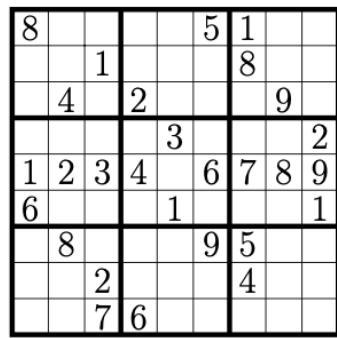
[3] Sasaki, T., Miyahara, D., Mizuki, T., Sone, H.: Efficient card-based zero-knowledge proof for Sudoku. Theor. Comput. Sci. (2020)

[4] Mizuki, T. et al.: Voting with a logarithmic number of cards. Unconventional Computation and Natural Computation. (2013)

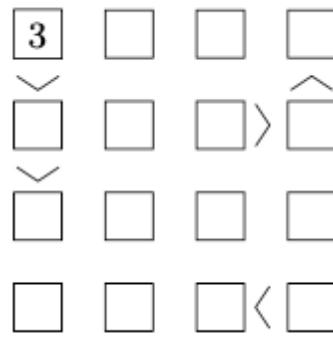
[5] Murata, S., Miyahara, D., Mizuki, T., Sone, H.: Public-PEZ cryptography. ISC. (2020)

天秤を用いたゼロ知識証明

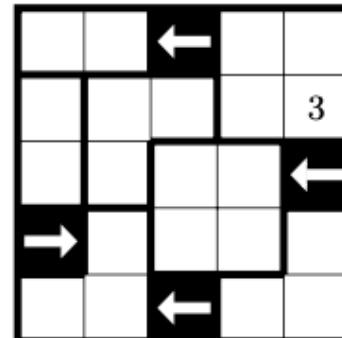
- ISC 2024^[6]で天秤を用いたゼロ知識証明を発表
 - 数独を含む4つのパズルに対するプロトコルを構築
 - セキュリティ証明を与え、効率性を評価
 - SCIS 2025^[7]で数独のプロトコルの効率化
 - 比較順序を工夫し比較回数を削減



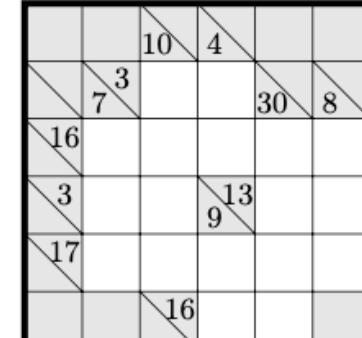
数独



不等式



マカロ



力ツクロ

[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

[7] 金子尚平, 崎山一男, 宮原大輝, “天秤ベースゼロ知識証明の推進,”暗号と情報セキュリティシンポジウム(SCIS),(2025).

- DICOMO2023^[8]で天秤ベース秘密計算を発表
 - 2入力ANDプロトコルとしきい値関数プロトコル
 - 計算モデルの作成
- Suthee Ruangwises^[9]による研究
 - AND、しきい値関数、対象関数、任意のブール関数
 - 袋やペンを必要とするものがある



[8] 金子尚平, 李陽, 崎山一男, 宮原大輝, “天秤ベース秘密計算に対する計算モデルの構築,” DICOMO2023, (2023).

[9] Suthee Ruangwises.: Balance-Based Cryptography: Physically Computing Any Boolean Function. arXiv.(2025)

- 既存プロトコル^[6]における比較回数の効率化
 - トーナメント表を用いた比較順序の工夫
 - カードベース暗号に現れない**独自**の改良
- 新しいソーティングアルゴリズムの提案
 - ソートされていない2つの数列を同時にソート
 - 新しいアルゴリズムの設計と解析につながる



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

対象とする問題の種類

- ・本発表は数独の判定問題に対するZKPを扱う
- ・解の一意性（一つしか存在しない）について：
 - 別解が存在することのZKPは大抵可能
 - 別解が存在しないことのZKPは不可能（と予想される）

NP問題
この数独は解けます

co-NP問題
この数独は解けません

8				5	1			
		1				8		
	4		2				9	
				3				2
1	2	3	4		6	7	8	9
6				1				1
	8				9	5		
		2				4		
	7	6						

ASP問題
別解があります

co-ASP問題
別解はありません

1. 導入

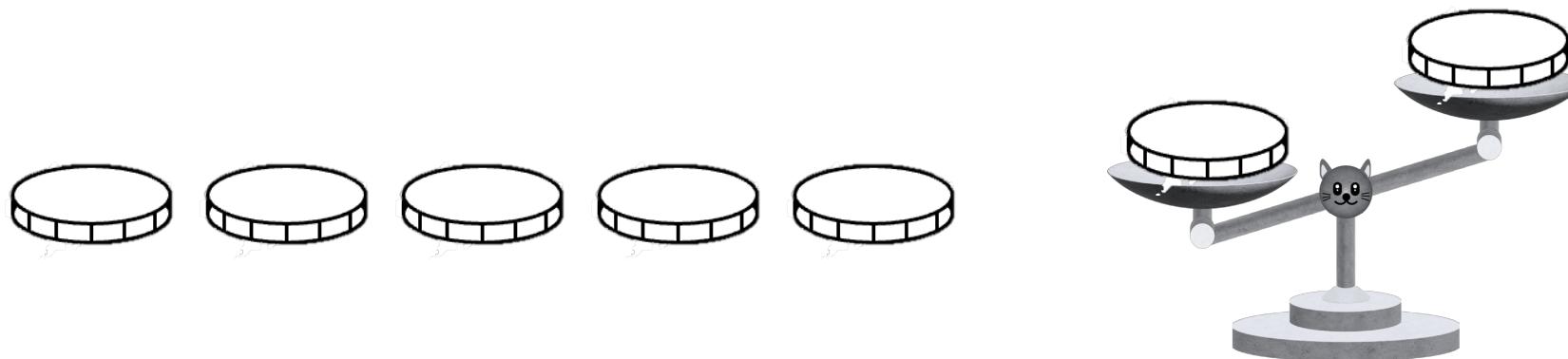
2. モデル

3. 既存プロトコル

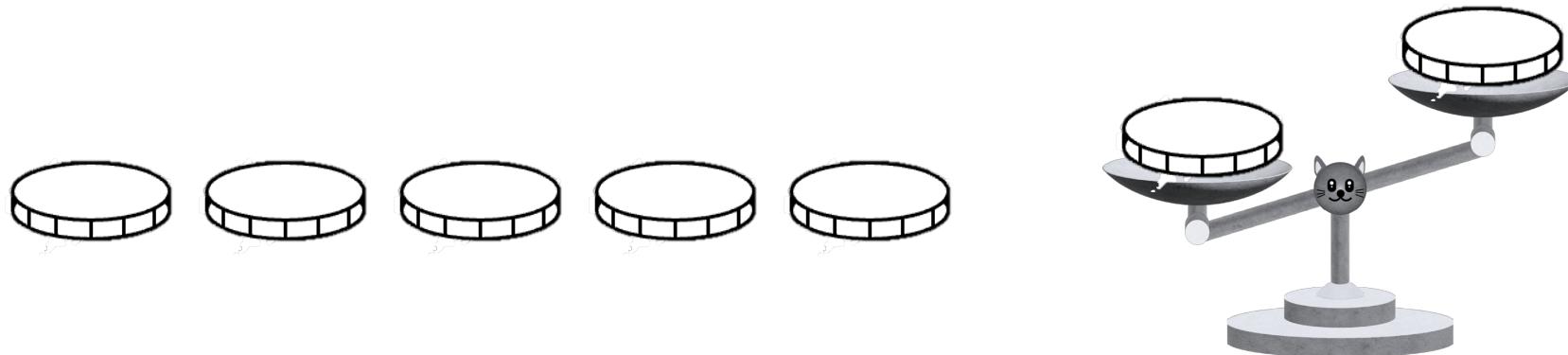
4. 提案プロトコル

5. 終わりに

- 天秤とコインのシャッフルを利用
 - コインの重さは見た目から区別できない
 - コインの重さがそのマスの数字を表す
 - 一定の角度とスピードで傾く理想的な天秤を仮定



- 天秤とコインのシャッフルを利用
 - コインの重さは見た目から区別できない
 - コインの重さがそのマスの数字を表す
 - 一定の角度とスピードで傾く理想的な天秤を仮定
- コインと天秤の利用
 - コインを  で表す
 - 2枚のコインの比較:  | 
 - シャッフルはコイン列を完全ランダムに並び替える



- DICOMO^[8]でのコインの定式化
 - コインを w で表し、 $w > 0$ がコインの重さを表す
 - コインの集合を C とする
 - 天秤は $C_1 \text{ } ops \text{ } C_2$ のように表し、 $ops \in \{-, /, \backslash\}$ は傾き
- 品川ら^[10]による計算モデル
 - コインを w で表し、 $w > 0$ はコインの重さを表す
 - 比較操作を $f(C_1, C_2)$ と表し、1, 2, 3を傾きとして出力

[8] 金子尚平, 李陽, 崎山一男, 宮原大輝, “天秤ベース秘密計算に対する計算モデルの構築,” DICOMO2023, (2023).

[10] 品川和雅, 縫田光司, “Mizuki-Shizuya モデルとその周辺,” 暗号と情報セキュリティシンポジウム(SCIS), (2025).

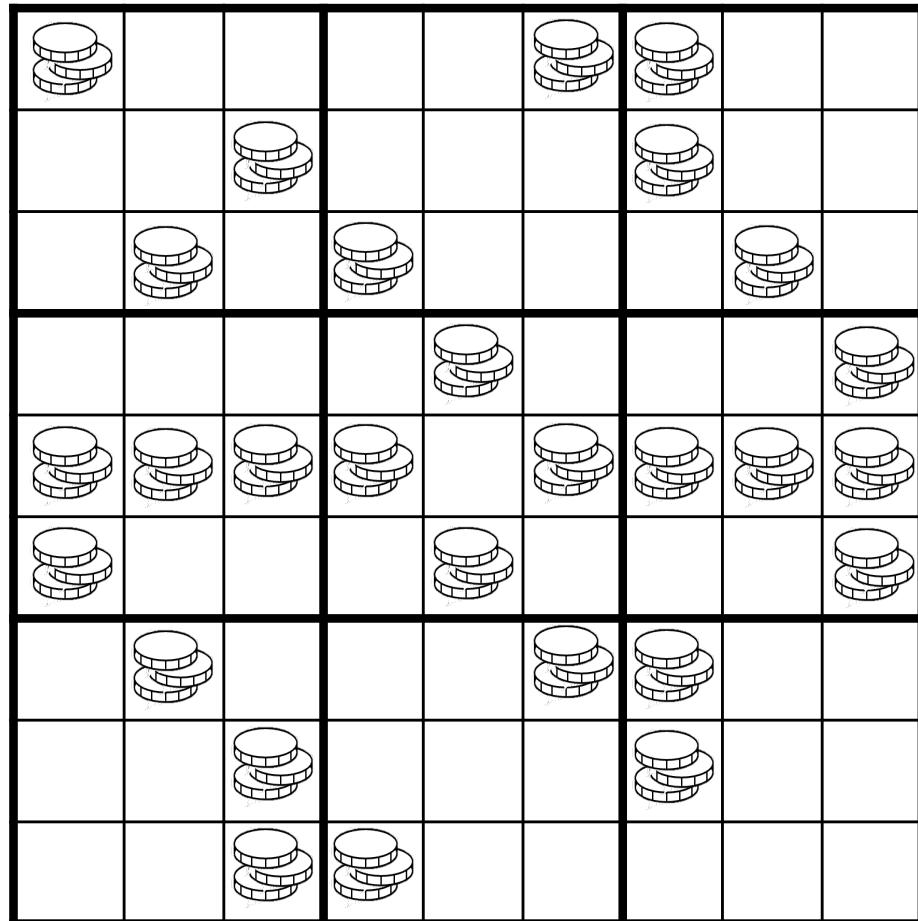
1. 導入
2. モデル
3. 既存プロトコル
4. 提案プロトコル
5. 性能評価
6. 終わりに

- 1から9までの数字が1つずつ現れることを証明

8					5	1		
		1				8		
	4		2				9	
				3				2
1	2	3	4		6	7	8	9
6				1				3
	8				9	5		
		2				4		
		7	6					

[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- 証明者は各セルに同じ重さのコインを3枚ずつ置く



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

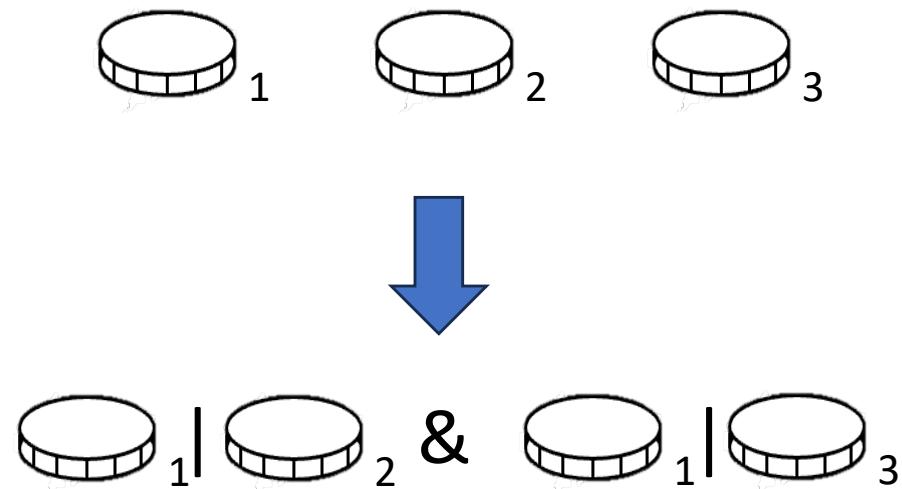
既存プロトコル^[6](準備)

- 各セルに同じ重さのコインを3枚ずつ置く



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- 各セルに同じ重さのコインを3枚ずつ置く
➤空きマスに置かれた3枚の重さが等しいことを確認



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- 9枚のコインに1から9の重さが含まれることを証明



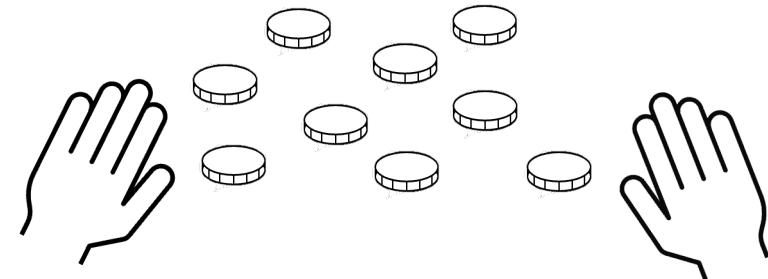
[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- R_1 の重さが全て違うことを検証



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- R_1 の重さが全て違うことを検証



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

既存プロトコル^[6](検証)

- R_1 の重さが全て違うことを検証

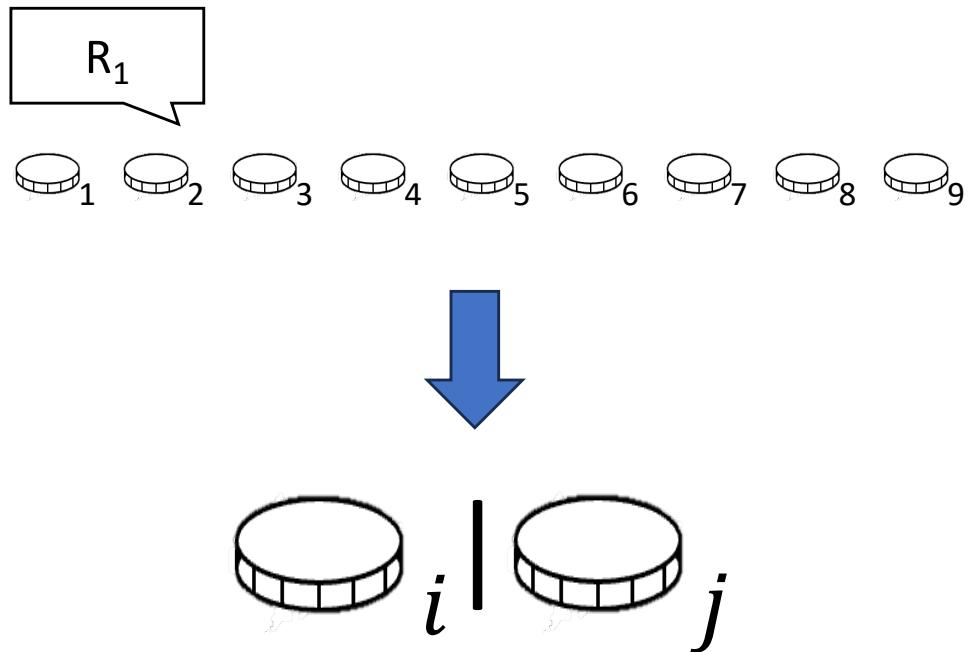


R_1

$c_1 \ c_2 \ c_3 \ c_4 \ c_5 \ c_6 \ c_7 \ c_8 \ c_9$

[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- R_1 の重さが全て違うことを検証



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- $R_1 = R_2$ を検証し、 R_2 にも同じコインがあることを確認



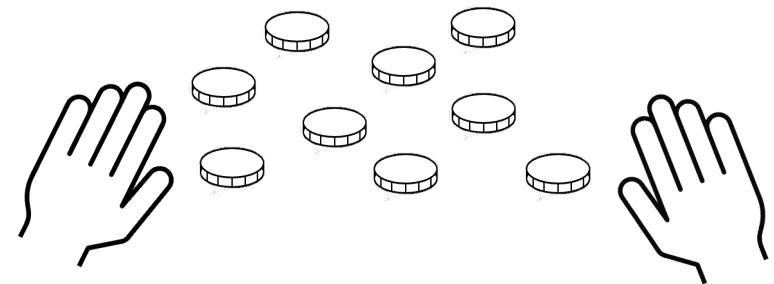
[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- $R_1 = R_2$ を検証し、 R_2 にも同じコインがあることを確認



R_1

$C_1 \ C_2 \ C_3 \ C_4 \ C_5 \ C_6 \ C_7 \ C_8 \ C_9$



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

既存プロトコル^[6](検証)

- $R_1 = R_2$ を検証し、 R_2 にも同じコインがあることを確認



R_1

1_1 1_2 1_3 1_4 1_5 1_6 1_7 1_8 1_9

R_2

2_1 2_2 2_3 2_4 2_5 2_6 2_7 2_8 2_9

[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

- $R_1 = R_2$ を検証し、 R_2 にも同じコインがあることを確認



R_1

$1_1 \ 1_2 \ 1_3 \ 1_4 \ 1_5 \ 1_6 \ 1_7 \ 1_8 \ 1_9$

R_2

$2_1 \ 2_2 \ 2_3 \ 2_4 \ 2_5 \ 2_6 \ 2_7 \ 2_8 \ 2_9$



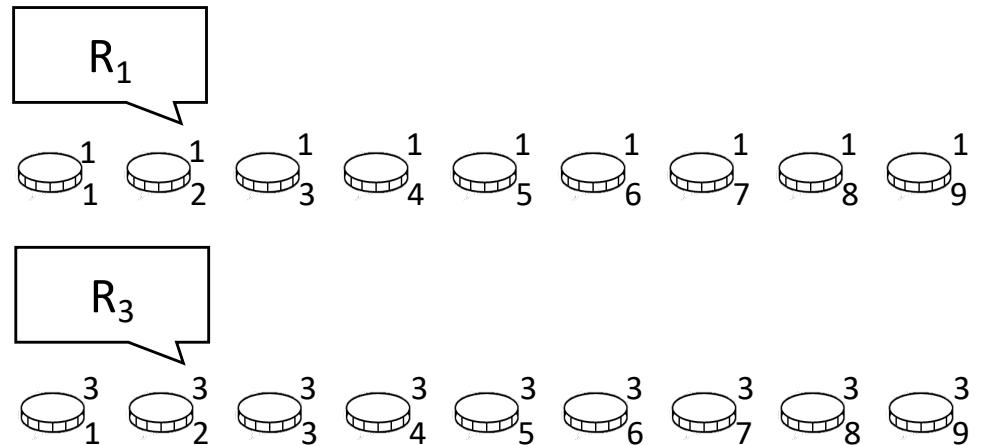
$1_i \ | \ 2_j$

for all i and j such that $1 \leq i, j \leq 9$

[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

既存プロトコル^[6](検証)

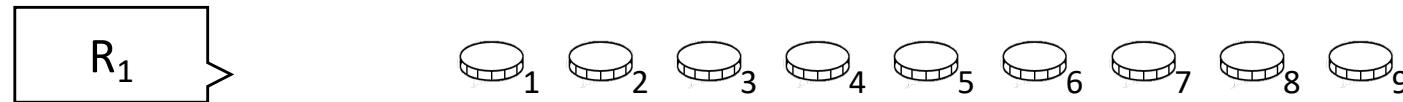
- R_3 から R_{27} も同様に検証
▶列が $R_{10} \sim R_{18}$ 、ブロックが $R_{19} \sim R_{27}$ に対応



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

クイックソートを用いた効率化^[6]

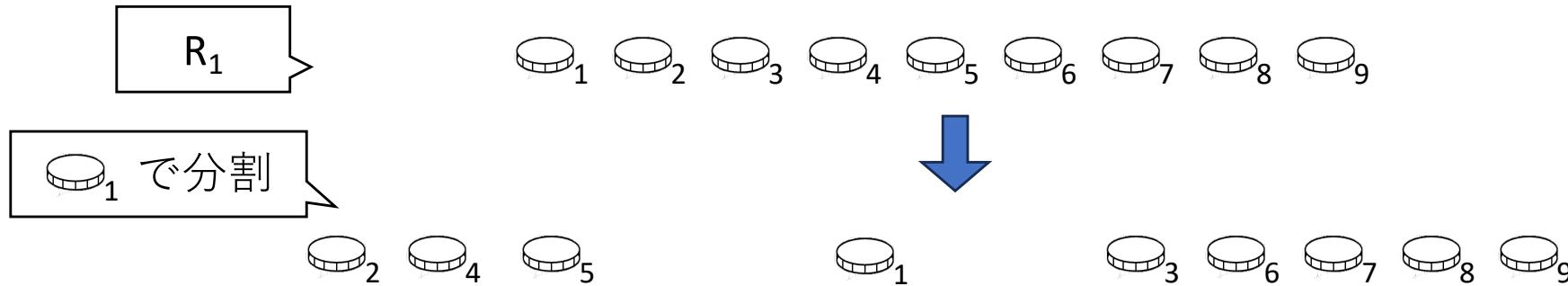
- 1列目の検証にクイックソートを用いる
 - ソートしながら天秤が釣り合わないことを確認



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

クイックソートを用いた効率化[6]

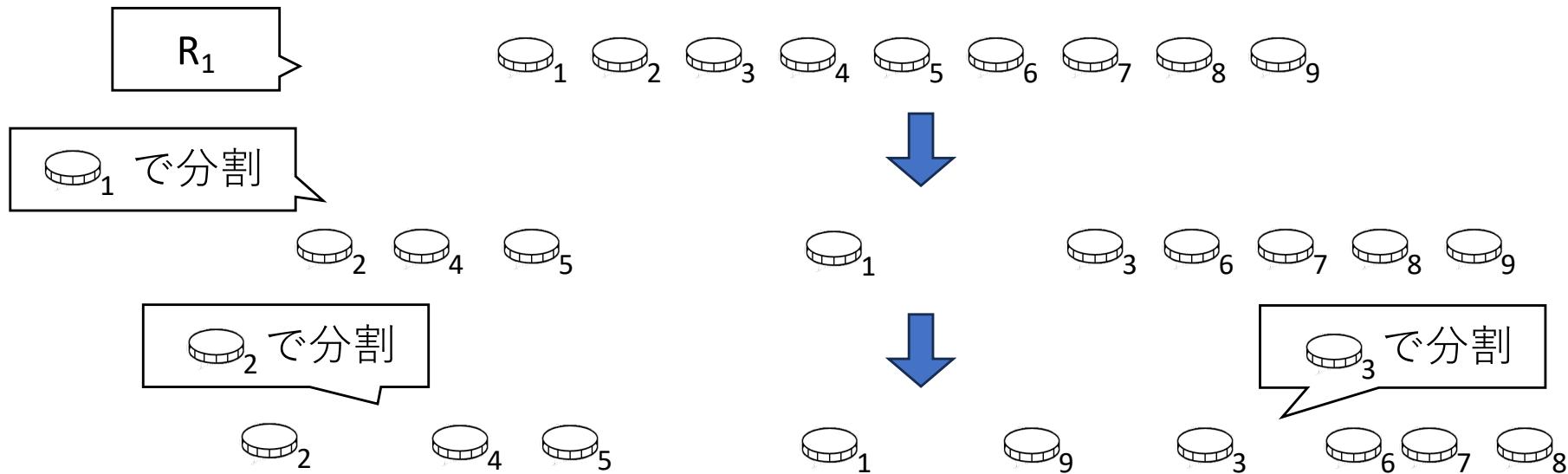
- 1列目の検証にクイックソートを用いる
 - ソートしながら天秤が釣り合わないことを確認



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

クイックソートを用いた効率化[6]

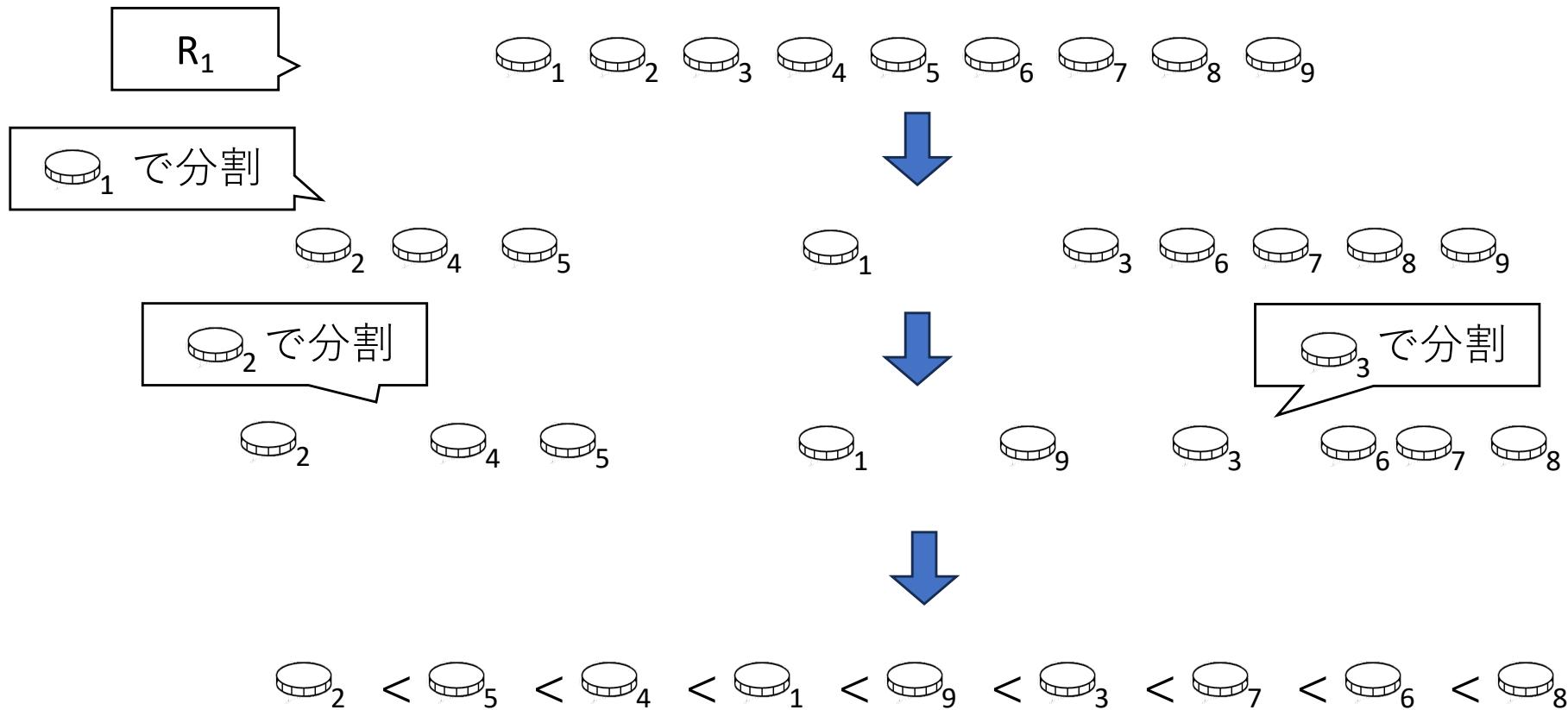
- 1列目の検証にクイックソートを用いる
 - ソートしながら天秤が釣り合わないことを確認



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

クイックソートを用いた効率化[6]

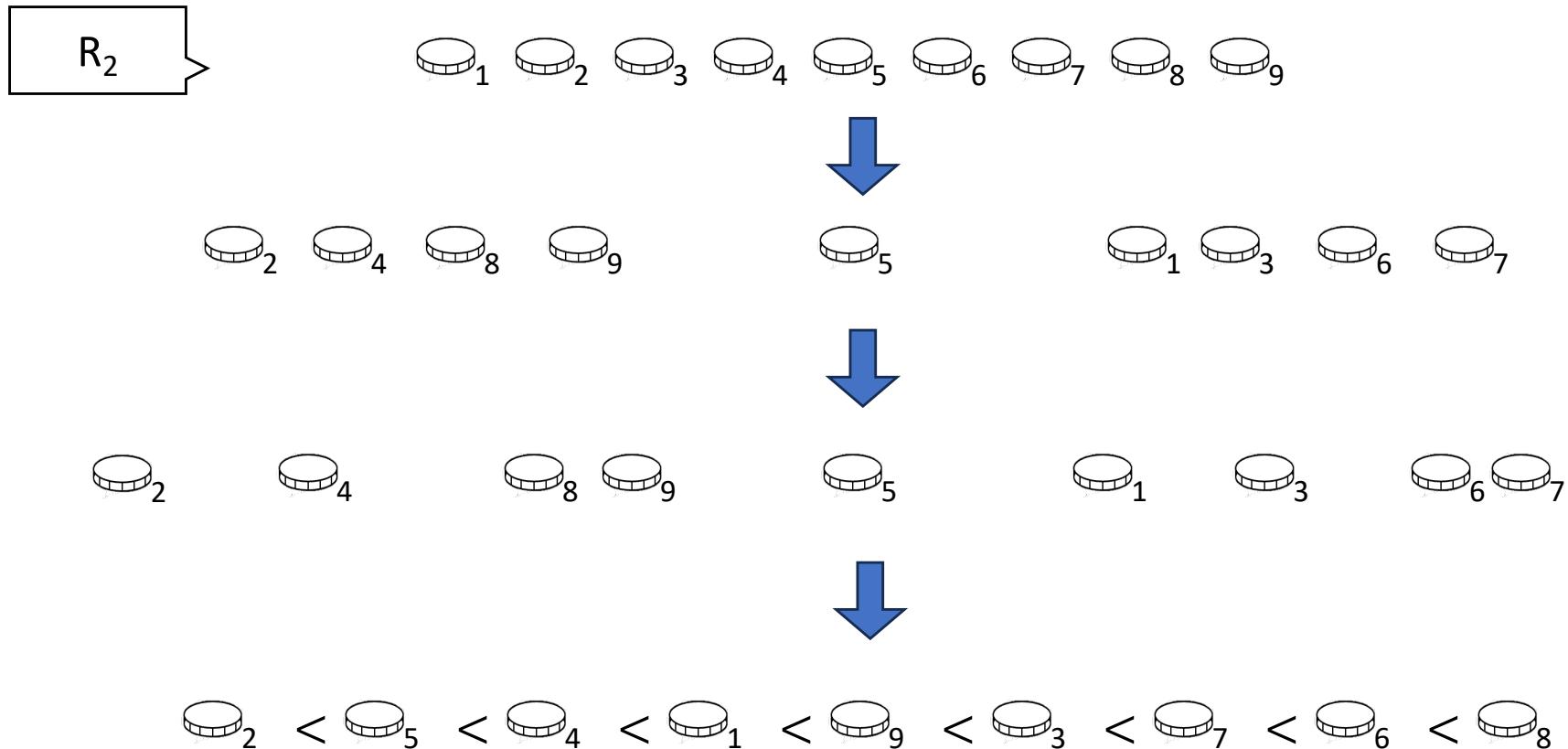
- 1列目の検証にクイックソートを用いる
 - ソートしながら天秤が釣り合わないことを確認



[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

クイックソートを用いた効率化[6]

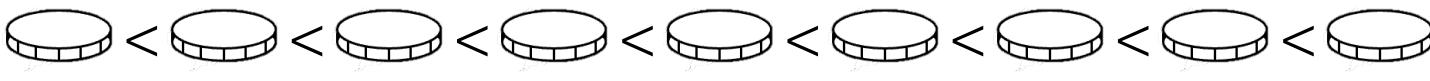
- 残りの検証では**最速**クイックソートが可能
 - ソートされた R_1 から最適なピボットを選択
 - 比較回数は25回 (全比較の36回より効率的)

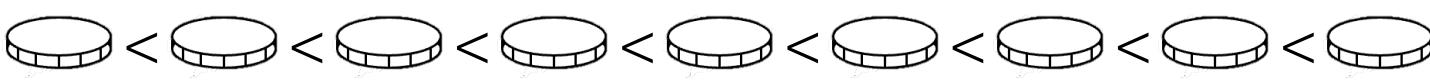


[6] Kaneko, S. et al.: Balance-based ZKP protocols for pencil-and-paper puzzles. ISC. (2024)

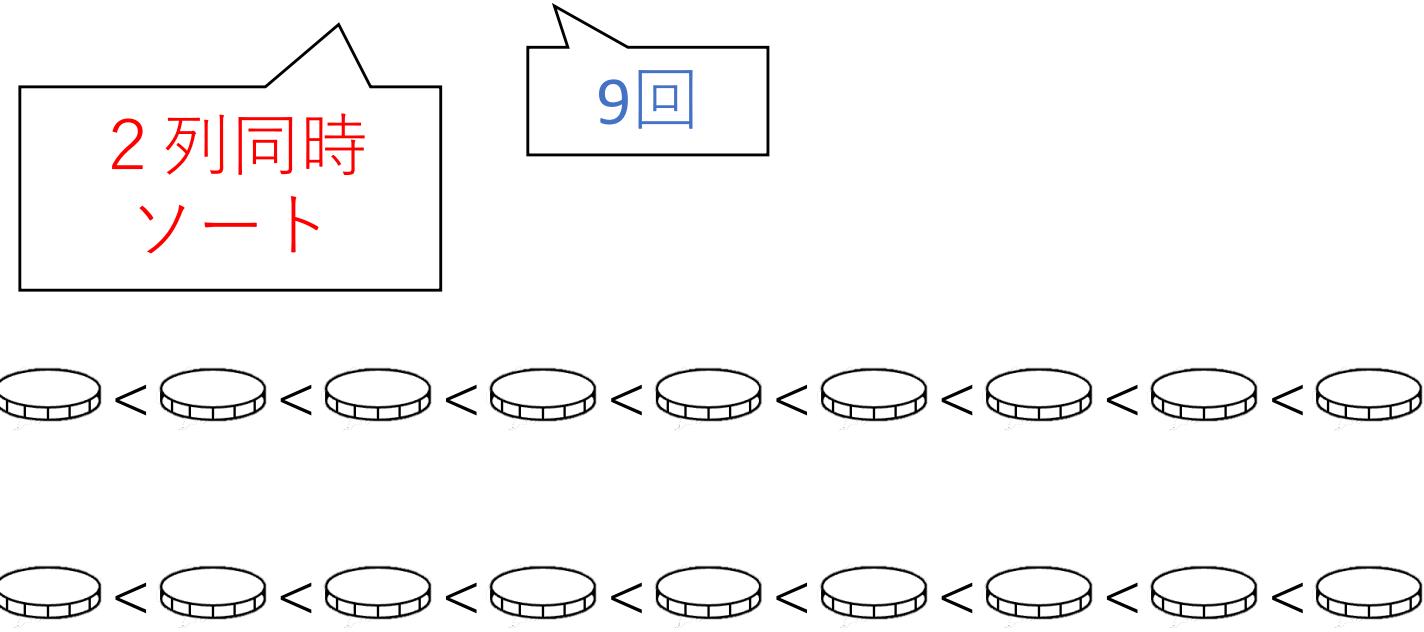
1. 導入
2. モデル
3. 既存プロトコル
4. 提案プロトコル
5. 性能評価
6. 終わりに

- ソートされた2列の同一検証は簡単
➤軽い方のコインから順に比較する（合計9回）

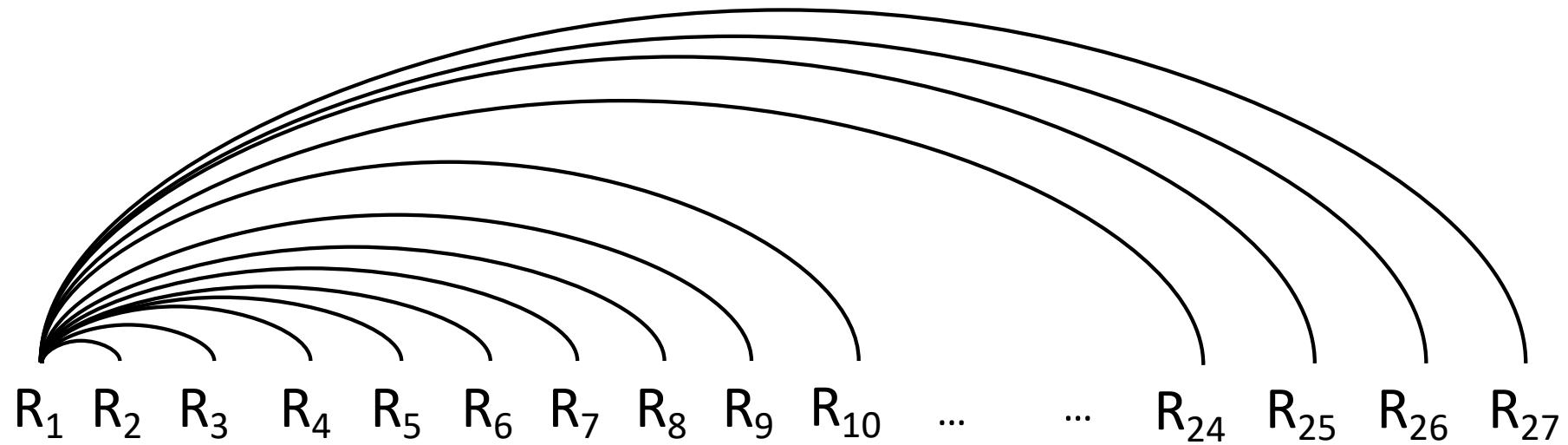
R_1 

R_2 

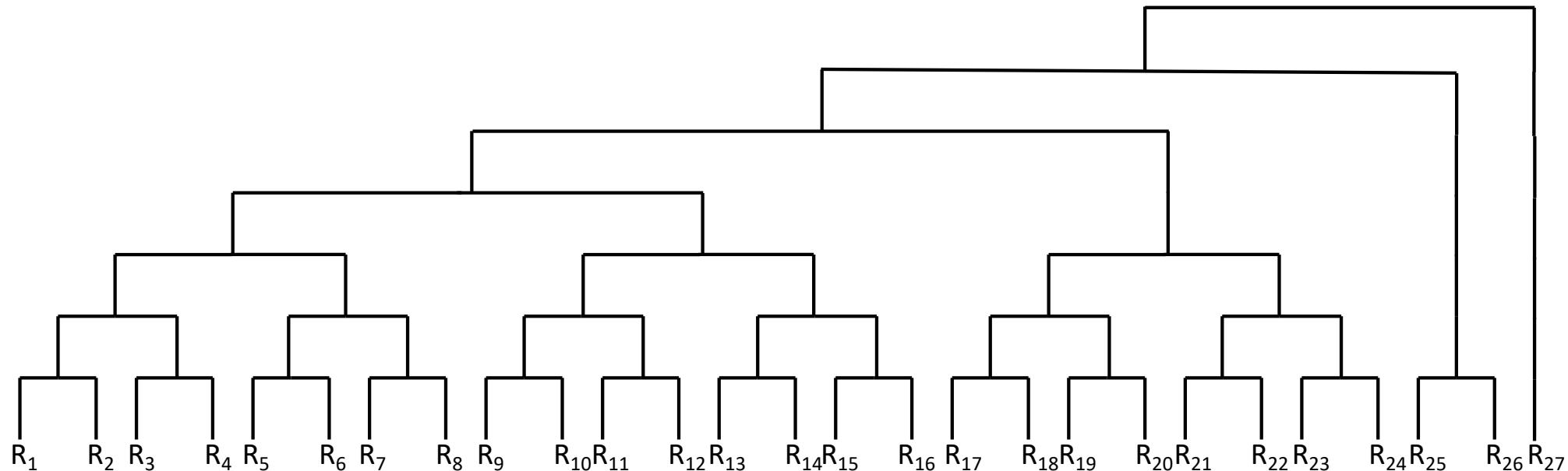
- ・ソートされた2列の同一検証は簡単
 - 軽い方のコインから順に比較する（合計9回）
- ・検証の順番を工夫することによる効率化
 - 既存： $R_1=R_2, R_1=R_3, \dots, R_1=R_{27}$ のように順番に検証
 - 提案： $R_1=R_2, R_3=R_4, R_1=R_3, \dots$ のようにトーナメント検証



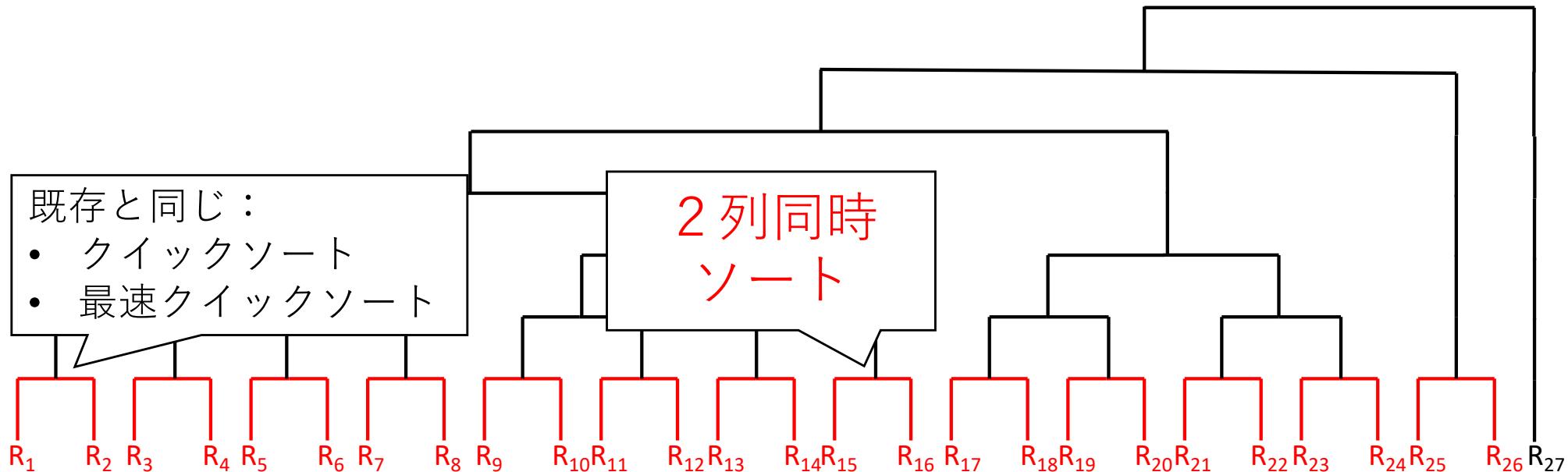
- 既存プロトコルの比較の順序



- トーナメントの表を用いて比較

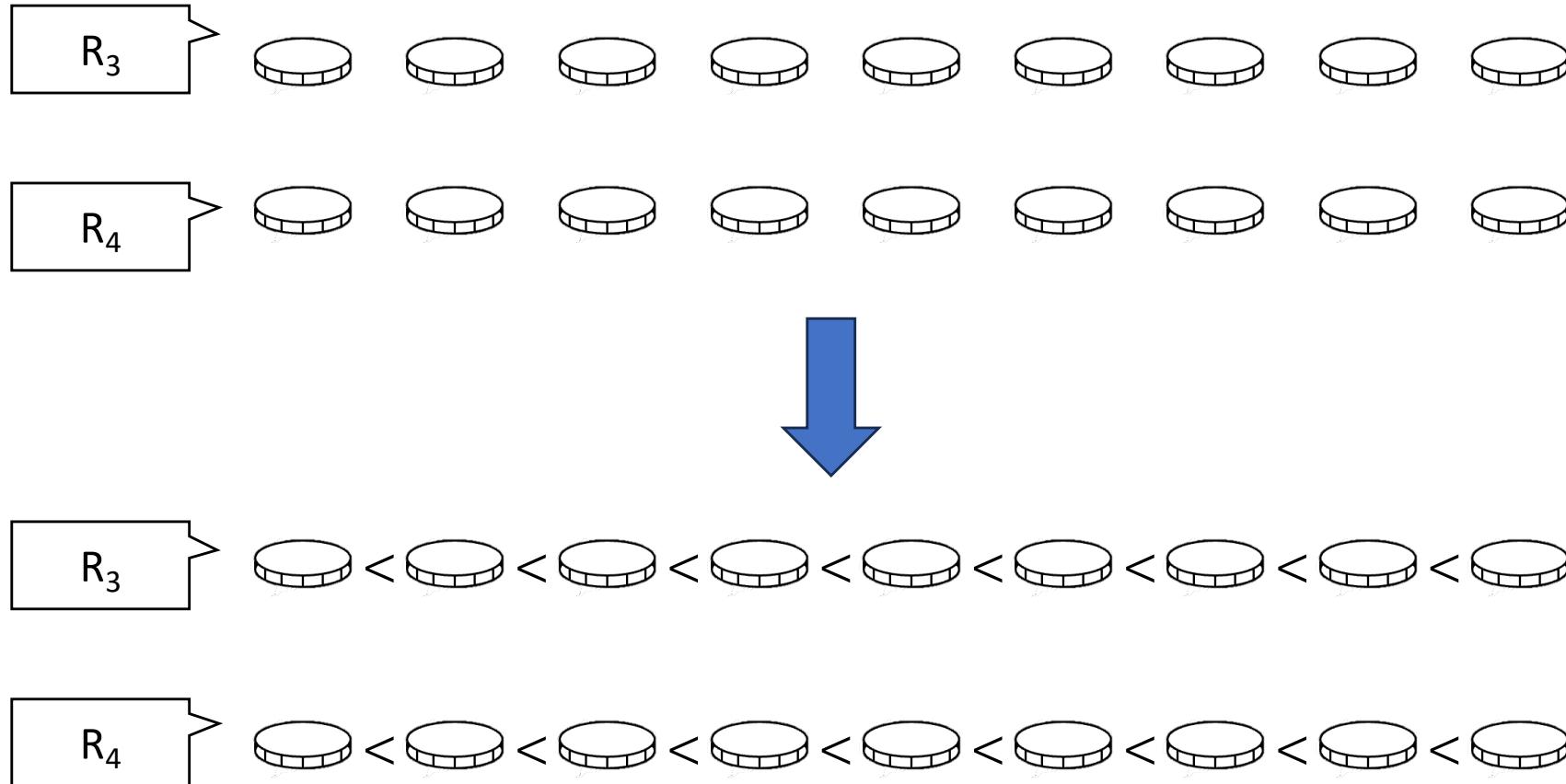


- トーナメントの表を用いて比較
 - コイン列ごとのペアを作成
 - 各ペアが等しいことをソートしながら検証（1回戦）
 - ペアから1列ずつ選んで検証（2回戦以降）
 - 1つだけソートされてないペアとの検証（決勝戦）

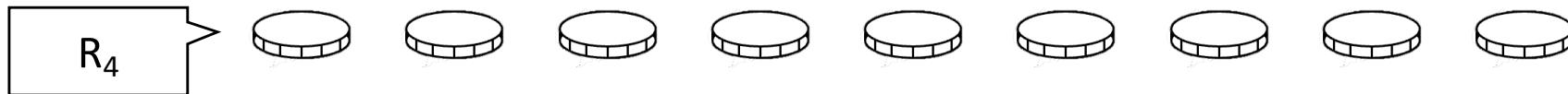
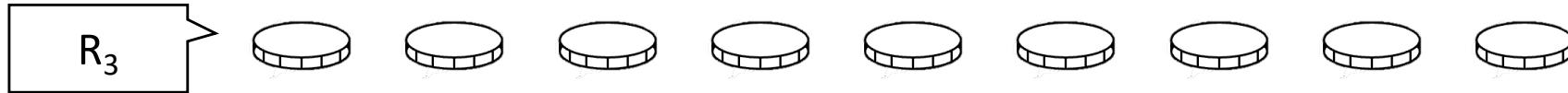


2列同時ソート

- 9枚のソートされていないコインを同時にソート

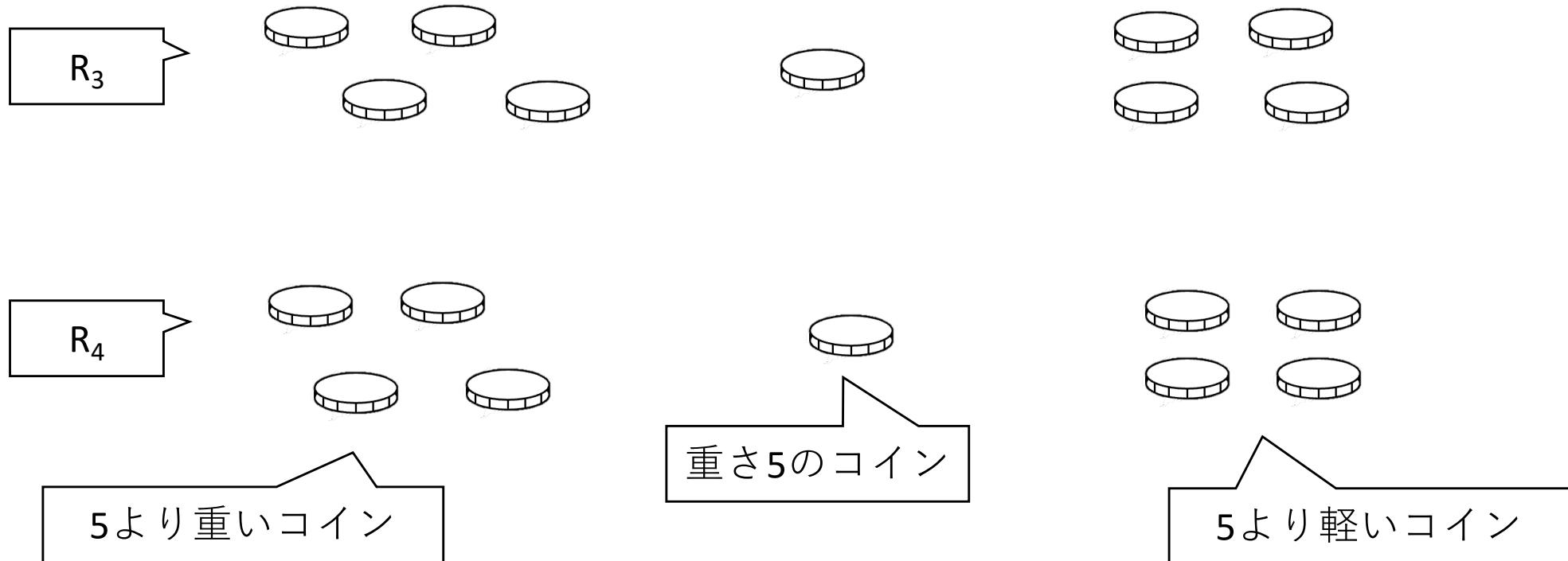


- 2列を半分に分ける
 - ▶ 全てのコインを重さ5のコインと比較



2列同時ソート

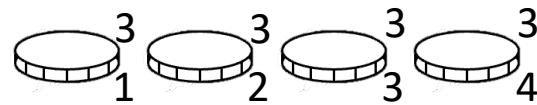
- 2列を3つに分ける



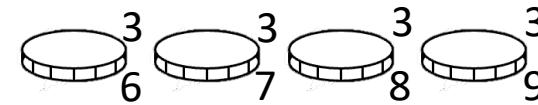
2列同時ソート

- 各グループのコインをすべて比較

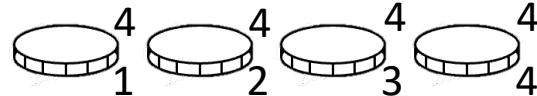
R_3



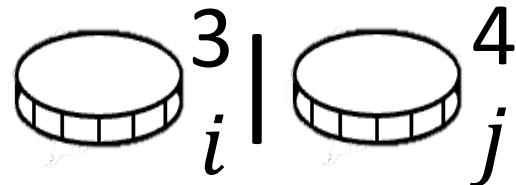
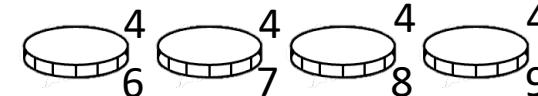
5



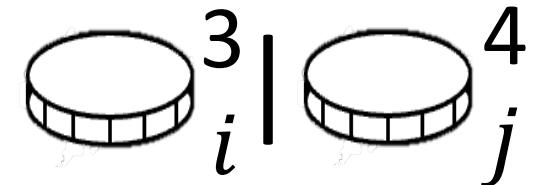
R_4



5



for all i and j such that $1 \leq i, j \leq 4$



for all i and j such that $6 \leq i, j \leq 9$

1. 導入

2. モデル

3. 既存プロトコル

4. 提案プロトコル

5. 性能評価

6. 終わりに

- 既存プロトコル

 - N_q : クイックソートに必要な比較回数

 - 最適クイックソートに必要な比較回数は25回

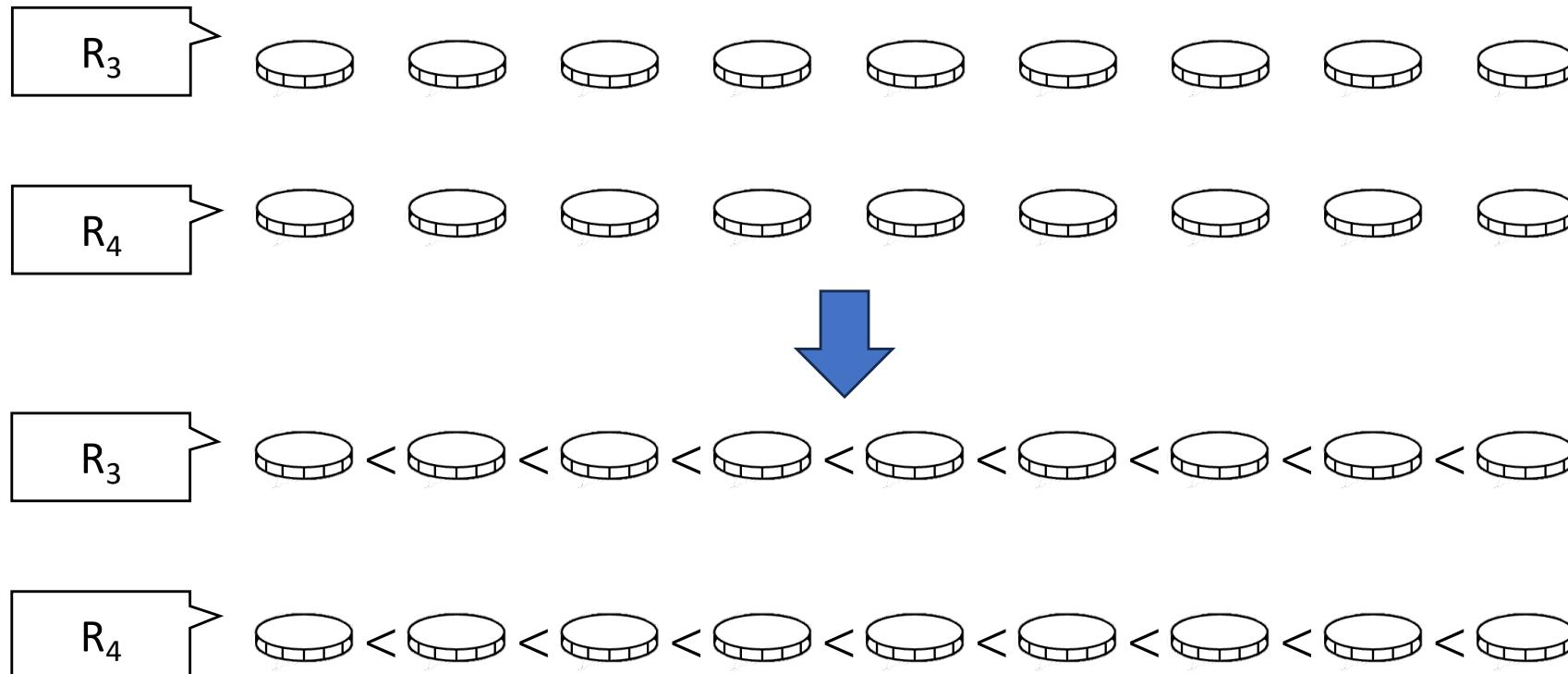
$$N_q + 25 \times 26 = N_q + 650$$

- 提案プロトコル

 - N_p : 2列同時ソートに必要な比較回数

$$N_q + 25 + 12N_p + 12 \times 9 + 25 = N_q + 12N_p + 125$$

- 2列同時ソートの比較回数を削減
 - N_p を40回以下に抑えたい
 - 2列同時ソートの最悪の比較回数は38回



1. 導入
2. モデル
3. 既存プロトコル
4. 提案プロトコル
5. 性能評価
6. 終わりに

コインを削減したプロトコル

- コインの枚数と天秤の利用回数を削減する
 - すでに数字が書かれたマスにはコインを置かない
プロトコルをSSSSで発表予定

○						□	1		
		1				8			
	4		2			9			
				3					
1	2	3	4		6	7	8	9	
6				1					3
	8				9	5			
		2				4			
		7	6						

コインを削減したプロトコル

- 7枚だけ一致することを確認



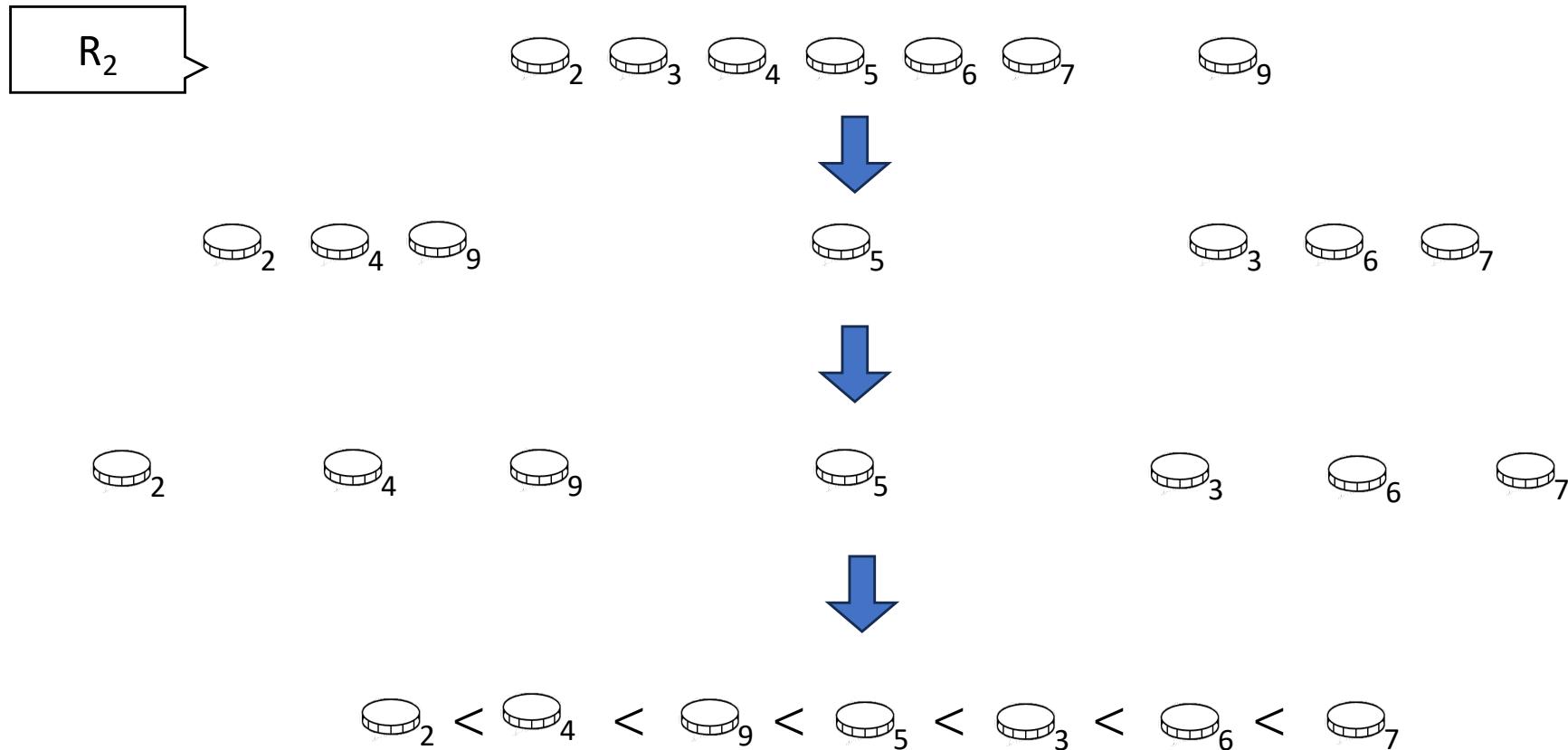
R_1

R_2

1 1 1 1 1 1 1 1 1
1 2 2 2 2 2 2 2 2
2 3 4 5 6 7 8 9

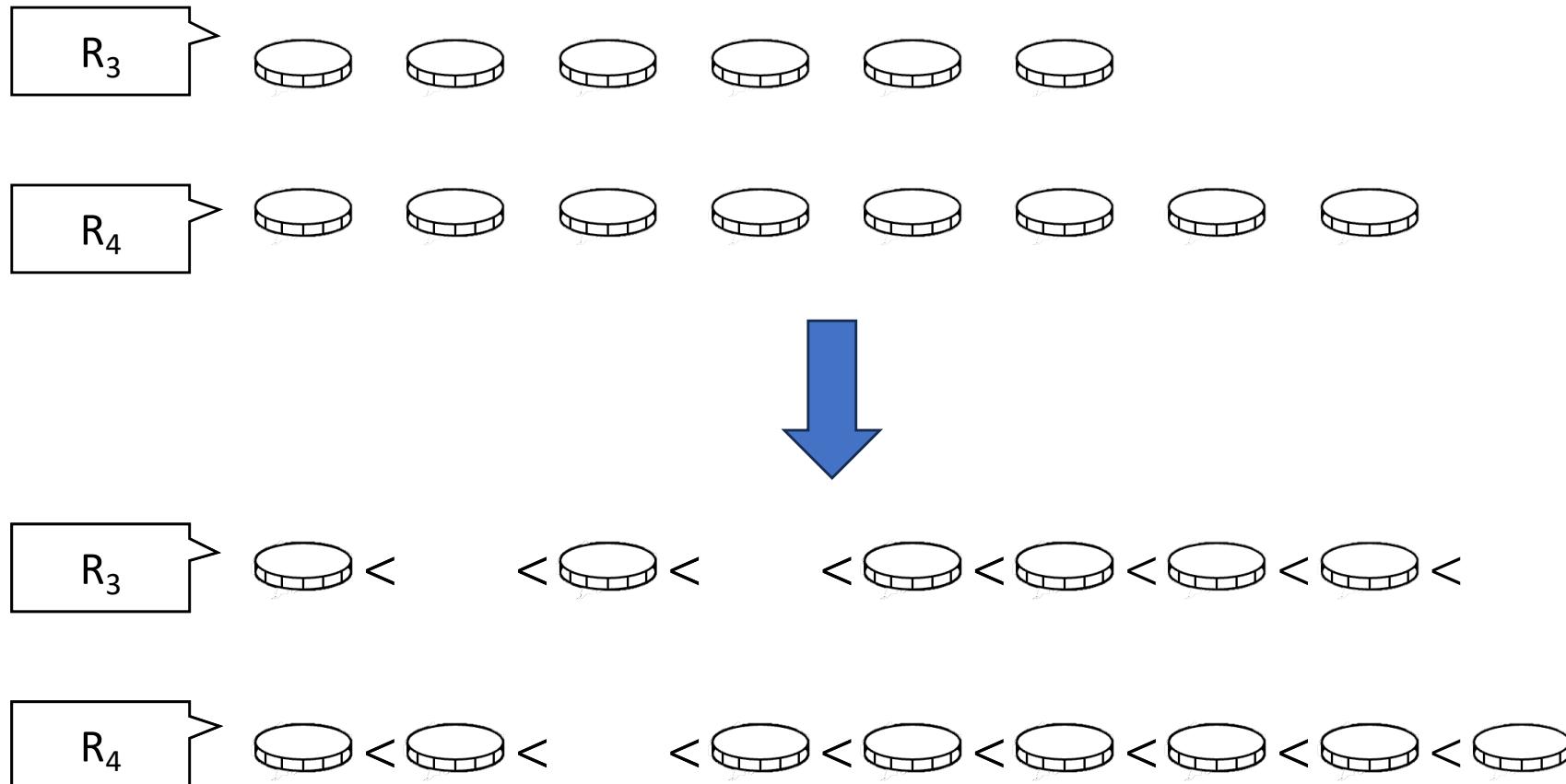
最速クイックソート

- ・コインが抜けたまま最速クイックソート



トーナメント方式

- ・コインが少ないままソート
➤穴の数や場所によって比較回数が変わる



トーナメント方式

- 穴あきの状態でトーナメント
➤ 穴を埋めながら次の比較をする

